

平成21年度第3回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会

日時:平成21年11月17日(火)13時～15時30分

会場:市役所202会議室

出席:石川 治、瀬野一郎、安田秀子(会長)、萬谷優子、矢口勝征、

事務局:有田英之(センター長)、内藤華子

傍聴者:1名

会議録

1.平成21年度活動報告について

安田 全学校がどこかの学年で石狩浜の自然について学べる取り組みを期待している。

有田 学校の授業の中に市の教育プランとして位置づけられないと、すべての学校が石狩浜について学ぶことを期待するのは難しい。

安田 観察に、ジャム作りや草木染などプラスアルファの楽しみを加えた事業を増やしていくべきと思う。

2.地域フォーラムについて

1)タイトルについて

石川 「海辺フォーラム」でいい。

萬谷 「海辺」という言葉はよいと思う。フォーラムという言葉は、集い」など日本語のほうがいい。副題をつけて「守ろう」、「保護保全」などの副題をつけてはどうか。

2)経費について

矢口 支出分を考慮すると、参加費500円は安いのでは？

萬谷 バス代も別途かかるし、参加費500円と資料代を別途200円程度いただくようにしては？

安田 発表の要旨のようなものを作ってはどうか。

3)主催について

石川 運営委員会は、海浜植物保護センターの中に含まれないか。

有田 そのようにする。

4)日程について

有田 日程は、第一希望が7/10-11、第二希望が7/3-4、第三希望が6/26-27、ということで、おもな交

流先の方の都合と、講師の都合を踏まえて決定したい。

安田 パネル展示というのはどんなイメージか。

内藤 石狩浜での活動の様子を会場や保護センターで展示することを想定していたが、他地域の様子を報告発表できない分を展示するのもよいかと思う。

矢口 今回の会議だけでは詳細がまだ詰めきれないので、まだ議論を重ねる必要があると思う。

有田 予算の目途が1月下旬なので、次回運営委員会は、次年度事業と合わせて海辺フォーラムについても重点的に詳細を詰めて行きたい。開催は2月上旬に予定したい。

3. 平成22年度事業について

1) 海辺の自然塾について

名称について

萬谷「なるほど自然塾」

瀬野「石狩浜まなびの広場」

石川「(シンボルとしての)はまなすの丘学びの広場」

矢口・瀬野 「石狩浜」入れるべき

萬谷 「石狩浜」は必要ない。

内藤 今月末までに決定したい。後で名称を変更することも可能なので、意見を考慮して、広報1月号に掲載する。

4. その他

有田 行政評価局による石狩浜の海浜植物保護についての動向は、現在、北海道土木部、札幌土木現業所、新港管理組合との接触を終え、内部評価の取りまとめをしている最中。年内には、石狩市へ結果報告があるようだ。その上で管理者に、斡旋していくようだ。

柵の補修及び看板の設置

海岸全体の利用区域のすみ分け、関係機関との連携及び利用マナーの啓発

海岸法による車乗り入れ制限も視野に入れるなど

安田 行政評価局からの指導(斡旋)には強制力はあるのか。

有田 強制力はないようだが、財源がないものは難しいのではないか。

また、センターでは、西浜地域（現在の自主規制区域）や通称シップ原生花園地域の保護の検討を進めていくが、現行の石狩川河口海浜植物等保護条例では対応しきれない部分もでてくると思われ、来年以降、条例の改正も視野に入れて考えていく。

ただ、西浜地域については、行政評価局の指導による関係機関の動きを見て行きたい。まずは、市の管財課が所管するシップ原生花園の扱いについて、考えていきたい。

安田 ぜひ、保護を進めてもらいたい。

はまなすの丘のイソスミレの移植作業の結果はどうか。

有田 １６人の参加で、２０株程度を移植した。

以上

確認しました。

平成２１年１２月１５日

石狩浜海浜植物保護センター運営委員会

会長 安 田 秀 子